

北大和小だより 11月号

令和4年10月31日
大和市立北大和小学校
〒242-0001 大和市下鶴間685
ホームページ <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-kiita/>

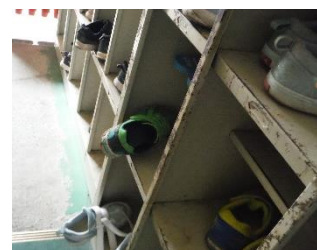


「整っている」



講話朝会の話です。最初は昇降口の話です。最近は雨が降ったり止んだり、校庭がぬかるんでいることも多く、靴についた砂が運ばれて昇降口が砂だらけになってしまうことがあります。学校用務員が児童のために清掃をしているのですが、すぐに砂だらけになってしまいます。昇降口の入り口には靴の砂を落とすためのマットやグレーチングがあるのですが、児童を見ていると、早く教室にもどりたい意識もあり慌てていて、立ち止まって砂を落とす児童は限られています。「どうしたら砂だらけの昇降口にしない協力ができるのだろう」と問いかけて、昇降口に入る前に砂を落として靴が「整っている」こと。そして、「砂を持ち込まないことでみんなが気持ちよく過ごせる」と、心が「整っている」ことよさへの気づきを求めました。

二つ目の話は昇降口つながりで、下駄箱の靴に話は移ります。これも慌てているからか、片方の靴が下駄箱からはみ出していたり、中には落ちていたりすることを見ます。前述と同様に、靴を揃えて「整っている」こと、ゆとりを持って心が「整っている」ことよさへの気づきを求めました。



三つめの話は、職員室前にある落とし物コーナーのことです。持ち主が不明の落とし物がたくさん集まっています。これを解消するために「整っている」とは何だろうという問いです。物への記名を含めた日頃の物の管理に発想がいくことを期待して話を続けました。

最後に、校内を歩いていて見つけた気持ちよく「整っている」使いやすく「整っている」例を写真で見せて、イメージを膨らませてもらうと考えました。例えば廊下フックにある荷物が落下せずにかかっている様子。雑巾が使いやすく並べて干してある様子。新聞ラックの新聞が使いやすくラックに並んでいる様子。置き勉BOXがきれいに並んでいて、BOXの中の教科書も整理されている様子。このような生活に密着した写真から「使いやすさ」と「気持ちよさ」が伝わること、今ある好事例から良さを認め合うことを期待して提示しました。そして、最初は「整える」という言葉を考えましたが、自分で確認をする意味をもたせ、「整っている」を探してみようと話をまとめました。



校長講話は「キーワード」と「きっかけ」と考えています。発信することで先生方と児童が「キーワード」で考える「きっかけ」として使ってもらえればと期待しています。校長

気が伝わってきます。しかも、最初はぶら下がったり、飛び乗ったりといった遊び方から、「逆上がり」や「前回り」「足掛け回り」などの「技」に取り組む子が増え、さらに、今では、足を振ったり鉄棒から体を浮かせたりと体の反動をつけた「連続逆上がり」「連続前回り」「連続の足掛け回り」など、グルグルと何回も回転をして楽しむ姿が多くなりました。大人目にも「おお、すごい」と思う技の持ち主もいます。

鉄棒の場所が児童の動線に合っていたことで、自然に触れるようになったこと、誰かが楽しそうにしている姿に多くの子が集まる雰囲気ができることが要因ではないかと考えました。

これをケーススタディとして、今年度は自然に体を動かす「しかけ」が他にも作れないかと先生方と考えています。ラミネート作品の「ジャンプタッチ」や「ケンケンパコート」など少しずつ児童が楽しみながら効果的に「体力づくり」ができる「しかけ」を用意したいと考えております。

さて、コロナウイルス感染の厳しい状況が続く中、新学期を迎えます。暑さもしばらく厳しい状況です。学校では引き続き熱中症対策とともに感染対策を行いながら過ごしてまいります。ご家庭での健康観察のご協力により、登校を維持するために元気を確認の上の登校にご協力をお願いいたします。

校長

.....

【ご報告とお願い】